

2009年2月25日

社団法人ロシアNIS貿易会（ROTOBO）とのビジネスフォーラムにおける
マカショフ・キルギス共和国商工会議所副会頭のスピーチ

尊敬するフォーラム参加各方面の皆様

キルギス共和国商工会議所に加盟する我が国の実業界代表者らの名において、本ビジネスフォーラムにおける日本、キルギス両国の実業界の会合を企画して下さった方々皆様に感謝の意を表したく存じます。

本日、キルギスと日本は互いに歩み寄る更なる一步を踏み出しました。日本側訪問団からはキルギスへの関心が示されましたし、日本側訪問団のメンバーには世界有数の企業が含まれておりました。

本日私共が招待したキルギス側企業は、この会合に強い関心を示した企業であります。

これは、日本、キルギス両国のビジネスパーソンが互いに大きな関心を寄せ合っていること、また、彼らが今後、統合的な相互協力体制を築くであろうことを示すものであると同時に、本フォーラムのテーマに掲げられた目標が実現されること、テーマ別会議においてそれが幅広い視野から議論されること、さらには、両国の企業家間の協力を深めるための具体的な助言・提案が採択されることを確信させるものでもあります。

尊敬する参加者の皆様

ほとんどの国において、商工会議所は、国際貿易と対外経済活動の窓口として機能しています。キルギス共和国の商工会議所も例外ではありません。個人事業主、中小企業、大企業・大会社をとりまとめている当商工会議所は、貿易・経済上の協力関係の構築と拡大、ならびに、海外諸国の実業界とのビジネス関係、パートナー関係の構築において確固たる役割を果たしております。

現在、当商工会議所は国内1万5,000社以上の経済主体と積極的に活動しております。これらは、あらゆる部門において首尾よく事業を執り行っている企業・会社、個人事業主であり、そのカバーエリアはキルギス全域に渡っています。今年、当商工会議所は、我が国への投資誘致と国内プロジェクトの海外市場への進出を課題の一つとして先日設立された組織「キルギスインヴェスト」の創立に加わりました。

また、ここ数年の間、当商工会議所は日本の国際組織と積極的な協力活動を進めております。キルギス、日本両国間の関係強化と経験交換を目的として、当商工会議所は、国際協力機構（JICA）日本貿易振興機構（JETRO）といった国際組織や、キルギス共和国日本人材開発センターとのパートナー関係を支持しています。

例えば、2005年から2008年にかけては日本国際協力機構（JICA）提供によるプロジェクトの枠内において、当商工会議所の職員と正会員であるビジネスパーソンが、経済事業体の活動に触れ、その経験を学ぶために、日本を訪問いたしました。この結果、キルギスにおいて同様の構造を発展・進化させるための協同事業が立案されています。

また、対外経済活動も、当商工会議所の業務の主要方針の一つとなっています。対外経済活動面においては、展示・見本市事業が、国家間関係の調整と貿易・経済・科学技術関係の強化に関わる重要な局面の一つとなっています。当商工会議所は、キルギス内外における展示・見本市事業のコーディネーターであり、また、主要主催者であります。小さな共和国である我が国にとっては、一つ一つの国際展示会が、キルギスの発展における定期的な歩みとなるのです。展示・見本市事業は、キルギス経済の前進を反映するものであると同時に、我が国の産業の多くの部門における発展を示すものでもあるのです。

これについては、当商工会議所が携わった大事業であった名古屋市での万国博覧会「EXPO 2005」に言及したいと存じます。

当商工会議所には、「EXPO 2005」へのキルギス共和国の参加と準備に関する主要コーディネーターとしての役割が委ねられました。これには、あらゆる組織的・技術的問題の解決も含まれておりました。6ヶ月に渡り開催されたこの万博の総来場者数は2,200万人を超え、キルギス館の来場者数は約200万人となりました。我が国の展示のメインテーマは、「中央アジア シルクロードと現代」というものでした。我が国がこの万博に参加した結果、日本の国民に我が国をより深く知っていただくことができました。万博での展示では、キルギスの歴史的価値、独自の文化、自然の美しさ、世界に対する開放性を国際集団に示すことができ、その結果、我が国への追加的な海外投資の誘致と観光が促されることとなりました。展示期間中、当商工会議所は、万博の訪問とビジネス関係の調整を目的としたキルギス実業界訪問団を2度にわたり結成しました。キルギスの展示準備には、現在、キルギス共和国のキルギス日本センター所長を務めておられる浜野氏が、多大な助力を提供してくださいました。2006年以降、日本からキルギスを訪れる観光客の数が大幅に増えています。経済と日本語教育に関するセミナーの開催数も増えました。また、万博以後、日本からキルギスを訪れる企業家の数も増加しています。2006年7月には、「トヨタ」社の代表者らが、貨物吊上げ機械・装置の販売代理店の開設を目的としてビシケク市を訪れました。2007年には、JICAルートにより、日本の専門職員が当商工会議所の助力のもとに、輸入自動車サービスの向上を目的としたプロジェクトを1年間にわたり実現してくださいました。

キルギスから日本へ製品を発送する際には、当商工会議所が製品の出所証明書の真偽証明を行なっています。

しかし、両国の経済関係においては、キルギスが持つポテンシャルが全て活用されているわけではありませんし、資源余力も有効利用されてはおりません。これは特に、エネル

ギー、採鉱コンプレックス、加工産業、観光といった経済部門において言えることです。我々は、現在すでに十分な技術的・財政的ポテンシャルを持っている日本の実業界と投資の参加をもって、上記の各部門がより集約的に発展してくれるのではないかと考えております。

利益の代弁と調和、足並みのそろった体制の構築、世論や権力機関へのそれらの提示および発展、加盟員への情報サービスの提供を主たる発展指標としている日本の商工会の役割には学ぶところが大きく、興味をかき立てられました。商工会は、莫大な組織的・財政的資源を持っており、加盟員と加盟員へのサービス提供をその活動目標に掲げています。また、社会・経済の発展について明確な展望をお持ちであります。これを見る限り、キルギスの商工会と権力機関は、内部での相互協力に関する日本の経験をより多く吸収する必要があると同時に、安定した経済発展を目指して、既存の産業部門の拡大・改良と新規部門の構築に大胆な資本投下を行なう必要があると言えるでしょう。また、若手管理職と労働者の養成プロジェクトの立案も重要な課題となっています。

本フォーラムの目的は、互恵的パートナー関係の方向性の決定と、両国の企業家間における新たな交渉の調整であります。本フォーラムの開催が、在キルギス日本大使館と社団法人ロシアNIS貿易会（ROTOBO）の手によるものであることが、その明白な証拠でありましょう。

参加者の皆様のご成功をお祈り申し上げます。

ご清聴感謝します。